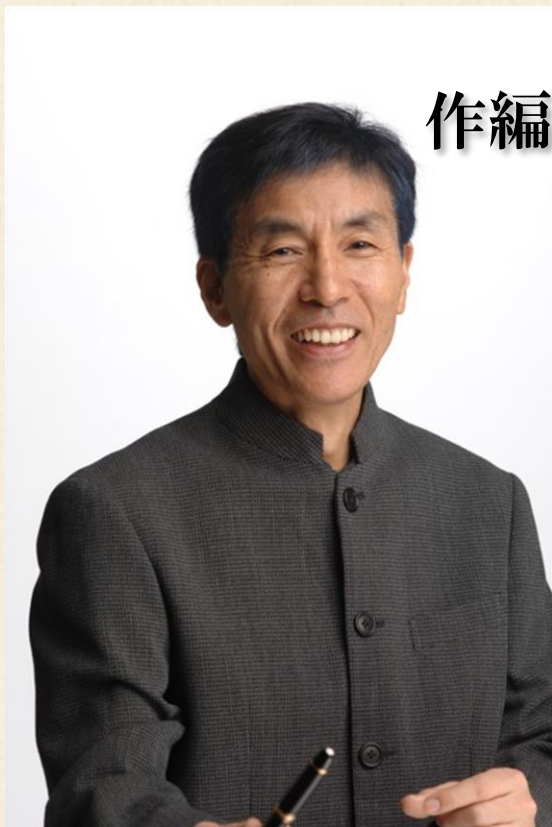


4,000曲以上のイントロを作った男

作編曲家 **萩田光雄**



ポップスの黄金期を彩った  
スーパープロフェッショナルが語るレコーディング秘話

ref (レコーディング三者協議会) では、加盟団体の会員および音楽ファンの皆様に、プロフェッショナルレコーディングの魅力を広く知っていただきたく、トークセッションを開催します。

第2回目のゲストは、日本のポップス黄金期を語る時に欠かすことのできない奇才、萩田光雄氏。「シクラメンのかほり」「恋におちて」「異邦人」「木綿のハンカチーフ」「プレイバックpart 2」「少女A」など誰もが知る数多くの名曲をアレンジした”音楽の料理人”の生トークは、またとない機会です。

進行役は前回に引き続きシンセサイザープログラマー松武秀樹氏。4000曲を超える多くの作品をどのように作り上げてきたのか、絶妙なトークで萩田さんの魅力を引き出します。

このトークセッションはどなたでもお申し込みいただけます。プロフェッショナルレコーディングの世界をより深く味わえる音楽ファン必聴の企画、どうぞご期待ください。

萩田光雄 Mitsuo Hagita

1965年慶應義塾大学工学部電気科入学、同大学クラシカルギタークラブに在籍。のちにヤマハ音楽振興会作曲コースで林雅彦氏に師事、同社録音スタジオ勤務の後、作・編曲家を目指す。1973年高木麻早「ひとりぼっちの部屋」の編曲でデビュー。その後、編曲家として目覚ましい活躍をとり、1975年FNS音楽祭最優秀編曲賞をはじめ、1975年、1976年、2013年に日本レコード大賞・編曲賞を受賞。45年間にわたり、ポピュラー音楽界第一線の編曲家として活躍。ポップス、映画、アニメなど作曲作品も多数、ミキシングエンジニアとしてのクレジットも多い。現在、日本作編曲家協会常任理事、JASRAC編曲審査委員会委員長

●主な作品 異邦人(久保田早紀)、恋におちて(小林明子)、待つわ(あみん)、木綿のハンカチーフ(太田裕美)、プレイバックpart2(山口百恵)、サンタモニカの風(桜田淳子)、ひとり上手(中島みゆき)、飾りじゃないのよ涙は(中森明菜)、シクラメンのかほり(布施明)、マイレディー(郷ひろみ)、思い出がいっぱい(H2O)、恋の予感(井上陽水)、千の風になって(新井満)ほか4000曲以上

松武秀樹 Hideki Matsutake



©Yusuke Kashiwazaki/Red Bull Content Pool

神奈川県生まれ。1971年、富田勲氏のアシスタントとしてキャリアをスタート。独立後、モーグ・シンセサイザー・プログラマーの第一人者として数々のレコーディングに参加。1977年～1982年に参加したYMO作品では「YMO第4のメンバー」と称される。1981年には自身のユニット「LOGIC SYSTEM」を結成し、現在までに15枚のアルバムを発表している。

■日時 2018年 **6月21日(木)**

18:00開場 / 18:30開演

■会場 **めぐろパーシモンホール 小ホール**

目黒区八雲1-1-1 (東急東横線都立大学駅より徒歩7分)

■入場料 一般 **2,000円** 学生・未成年 **無料** (学生証・身分証をご提示ください)  
定員になり次第、締め切らせていただきます



入場ご希望の方はwebからお申し込みください  
スマートフォンの方は右記のQRコードからお申込みいただけます  
<https://recordingforum.wixsite.com/reftalksession2>

